

2023 全然堂歳時記 春

【風】

一月26日17時20句

2023年3月5日発

10行2段12ボ 桐10

兄おととむすびを持つて風揚に 風あげて重たき風となりけり
 風の子に風々あがれあがれかし 垂れてぬて力の強き風の糸
~~金輪際~~上がらぬ風を引き廻す糸までも重たくなりぬ風
 追風は無用の風の上りけり 青空に切れ~~て~~漂ふ風の糸
 風揚や風の強き~~に~~人柱 切れ風の落ち行く方へ駆け出しぬ
 風揚げて歌ふ雲雀を驚かす 少年に木の枝の風に風強し
 天上に裏を見せつつ風上る ゆふぐれのさびしき風をひきおろす
 つんつんと天に問へて風日沈む方に掛かりし風
 風神や数多の風を遊ばせて 巻き戻す風の糸ほど昔かな
 青空に浮んで重し風兄ふたり立って競ふや風

~~引つはれぬ糸の湾曲風~~
~~風を引く糸の湾曲風~~
 11:20 PM

2023 全然堂歳時記 春

2 風

二月27日 時 20句

2023年3月5日 発

10行2段12ボ 桐10

兄おととむすびを持つて風揚にゆふぐれのさびしき風をひきおろす
 風の子に風々あがれあがれかし少年に木の枝の風に風強し
 追風は無用の風の上りけり枝の風を慰めてゐる鴟の贅
 風揚や河原に数多人柱日沈む方に落ち行く風
 風揚げて歌ふ雲雀を驚かす切れ風の糸おほらかに漂へる
 天上に裏を見せつつ風上る落風に旅の始まり川の上
 つんつんと天につつかへ風兄ふたり立つて競ふや風
 風神や数多の風を遊ばせて
 空高く浮んで重し風
 引っぱれる糸の湾曲風

Handwritten notes in red:
 は 風
 長 風
 1.23
 30pm
 35pm
 たた

2023 全然堂歳時記 春

【3】 風

一月27日17時20句

2023年3月5日発

10行2段12ポ 桐10

兄おととむすびを持つて 風揚につんつんと天につつかへ風

風の子に風々あがれあがれあがれかし 風神や数多の風を遊ばせて

追風は無用の風の上りけり引っぱれる糸の湾曲風

風揚や河原に数多 人柱 ゆふぐれのさびしき風をひきおろす

漕ぎ出でて湖に風揚げてみん 風強し木の枝の風に少年に

風揚げて歌ふ雲雀を驚かす 枝の風を慰めてゐる鴟の贅

手応へはあれどはるかな 風切れ風の糸おほらかにただよへる

風揚の数多の風の同じ向き 日沈む方へ落ち行く風

糸までも重たくなりぬ 風落風に旅の始まり川の上

裏側に 天界迫る 風兄ふたり立つて競ふや風

2.12.1.29

2023 全然堂歳時記 春

【4】 風

3月8日 時 20句

2023年3月11日 発

10行2段12ポ 桐10

兄弟のおむすび持⁽⁴⁾つて 風揚に湖のまん中に 風あげてみん
風の子に 風々あがれあがれかし 手応への ころもとなき 風
高く長く^{よるさか} 天まで^{20m} 風の糸電話 いかのぼり糸の重たくなりけり
風神や数多の 風を遊ばせて ひつぱれる糸の湾曲 いかのぼり
風の糸ほどの 長生して みたき 風揚の数多の 風の同じ向き
いかのぼり 天の御籤を引くやうに 切れ風の糸おほらかに ただよへる
つんつんと 天につつかへ 風切れ風の 落ち行く方へ¹⁷ 駆け出しぬ³
裏側に 天界 迫る 風少年に 木の枝の 風に風強し
追風は無用の 風の上りけり 懸り風を 慰めてゐる 鴟の贅
風揚げて 歌ふ雲雀を 驚かす ゆふぐれの さびしき 風をひきもどす

風おにむすび持つてきこわれし ↓

2023 全然堂歳時記 春

【風】

3月8日 17時 20句

2023年3月11日 発

10行2段12ボ 桐10

兄弟のおむすび持つて風揚に湖のまん中に風あげてみる
風の子に風あがれあがれかし風揚や大気の海に浮上して
追風は無用の風の揚りけり風揚の数多の風の同じ向き
風揚げて歌ふ雲雀を驚かすひつぱれる糸の湾曲いかのぼり
高々と天まで風の糸電話手応へのころもとなき風
つんつんと天につつかへ風切れ風の糸おほらかにただよへる
裏側に天界迫る風切れ風の落ち行く方へ子が駆ける
いかのぼり天の御籤をひくやうに少年に木の枝の風に風強し
細く長く風の糸ほど存へて懸り風を慰めてゐる鴟の贅
風神や数多の風を遊ばせてゆふぐれのさびしき風をひきもどす

2023 全然堂歳時記 春

【風】

3月21日 20句

2023年3月11日 発

10行2段12ポ 桐10

二人しておむすび持つて風揚に湖のまん中に風あげてみん

風の子に風々あがれあがれかし 風揚や大気の海の水面上まで

追風は無用の風の揚りけり 風揚の数多の風と同じ向き

風揚げて歌ふ雲雀を驚かす ひつぱれる糸の湾曲いかのぼり

高々と天まで風の糸電話 手応のこころもとなき風

つんつんと天につつかへ 風切れ風の糸おほらかにただよへる

裏側に天界迫る 風切れ風の落ち行く方へ子が駆ける

いかのぼり天の御籤をひくやうに 少年に木の枝の風に風強し

細く長く風の糸ほど存へて 懸り風を慰めてゐる 鴟の贅

風神や数多の風を遊ばせて ゆふぐれのさびしき風を連れ帰る

去国 ~~4:50 am~~ 思子 ~~3:10 am~~

2023 全然堂歳時記 春

【風】

3月6日11時 20句

2023年3月11日 発

10行2段12ボ 桐10

二人しておむすび持~~つ~~て風揚に風揚や大気圏内よく晴れて
風の子に風々あがれあがれかし風揚の数多の風の同じ向き
追風は無用の風の揚りけり当り籤引つ張る如く~~風~~の糸
風揚げて歌ふ雲雀を驚かすひつぱれる糸の湾曲いかのぼり
春風と~~遊~~^にび~~遊~~^び遊ばれ~~れ~~^れ風切れ風の糸おほらかにただよへる
湖のまん中に風あげてみん切れ風の落ちて流るる春の川
高々と天まで風の糸電話少年に木の枝の風に風強し
つんつんと天につつかへ風懸り風を慰~~め~~^{めん}めて~~みる~~^{みる}鴟の贅
裏側に天界迫る風ゆふぐれのさびしき~~風~~^{まの}を連れ帰る
風揚や廻る地球に浮き上り細く長く風の糸ほど存へて

⑧
かんせろ

2023 全然堂歳時記 春

風

3月10日 16時 20句

2023年3月11日 発

10行2段12ボ 桐10

二人しておむすび持つて風揚に風揚や大気圏内よく晴れて
風の子に風々あがれあがれかし風揚の数多の風の同じ向き
追風は無用の風の揚りけり当り籤引つ張るやうに風たぐる
風揚げて歌ふ雲雀を驚かすひつぱれる糸の湾曲いかのぼり
春の風あまたの風と遊ぶなり切れ風の糸おほらかにただよへる
湖のまん中に風あげてみん切れ風の落ちて流るる春の川
高々と天まで風の糸電話少年に木の枝の風に風強し
つつんと天につつかへ風懸り風に愁ひを語る鴟の贅
背後から天界迫る風ゆふぐれのさびしき風を連れ帰る
風揚や廻る地球に浮き上り細く長く風の糸ほど存へて

⑧

風
サ
路

2023 全然堂歳時記 春 **【風】**

10月10日 20時 20句

2023年3月11日 発 10行2段12ボ 桐10

二人しておむすび持つて風揚に風揚や大気圏内よく晴れて
風の子に風々あがれあがれかし風揚の数多の風の同じ向き
追風は無用の風の揚りけり一等の当りし如く風たぐる
風揚げて歌ふ雲雀を驚かすひつぱれる糸の湾曲いかのぼり
春の風いろんな風と遊びつつ切れ風の糸おほらかにただよへる
雲白く風と遊んでまた明日切れ風の落ちて流るる春の川
湖のまん中に風あげてみん少年に木の枝の風に風強し
つつんと天につつかへ風枝の風に愁ひを語る鴟の贅
背後から天界迫る風ゆふぐれのさびしき風を連れ帰る
風揚や廻る地球に浮き上り沖をゆく幼子たちの風高し

2023 全然堂歳時記 春

【風】

3月10日 22時 20句

2023年3月11日 発

10行2段12ボ 桐10

二人しておむすび持つて風揚に風揚の数多の風の同じ向き

風の子に風々あがれあがれかし 一等の当りし如く風たぐる

追風は無用の風の揚りけり ひつぱれる糸の湾曲いかのぼり

風揚げて歌ふ雲雀を驚かす 切れ風の糸おほらかにただよへる

春の風いろんな風と遊びつつ 風切れて落ちて流るる春の川

雲白く風と遊んでまた明日 少年は木の枝の風に風強し

湖のまん中に風あげてみん 枝の風に愁ひを語る鴉の贅

つつんと天につつかへ風 ゆふぐれのさびしさに風つれかへる

風揚や廻る地球に浮き上り この団地屋上で風揚げし友

風揚や大気圏内よく晴れて 沖をゆく幼子たちの風高し

逆風に反抗する風が子 1:05 am

風が友よ団地の屋上で 0:50 am

2023 全然堂歳時記 春 一 凧

12月11日 5時20句

2023年3月11日 発 10行2段12ボ 桐10

二人しておむすび持つて凧揚に 凧揚の数多の凧の同じ向き
風の子に凧々あがれあがれかし 引けど引けど糸の湾曲いかのぼり
追風に反抗的な凧揚る 取り入れの如くに凧を手繰り寄せ
凧揚げて歌ふ雲雀を驚かす 切れ凧の糸おほらかにただよへる
遊びつつ高く遠くへ凧と風糸切れて落ちゆく 凧や春の川
雲白く凧と遊んでまた明日 木の枝の凧を見あげてゐる子かな
湖のまん中に凧あげてみる 枝の凧に愁ひを語る 鴟の贅
つんつんと天につつかへ凧 凧揚げし友よ団地の屋上で
凧揚や廻る地球に浮き上り ゆふぐれのさびしさに凧つれかへる
凧揚や大気圏内よく晴れて 沖をゆく幼子たちの凧高し

みなと凧あげし団地の屋上よ 7:30 am

2023 全然堂歳時記 春 **【風】**

13⁰⁰月11日10時20句

2023年3月11日発 10行2段12ボ 桐10

二人しておむすび持つて風揚に風揚の数多の風の同じ向き
風の子に風々あがれあがれかし引けど引けど糸の湾曲いかのぼり
追風に反抗的な風高し取り外す如くに風を手繰り寄せ
風揚げて歌ふ雲雀を驚かす切れ風の糸おほらかにただよへる
遊びつつ高く遠くへ風と風糸切れて風の落ちゆく春の川
雲白く風と遊んでまた明日木の枝の風を見上げてゐる子かな
湖のまん中に風あげてみん木に懸かる風に愁ひを鴟の贅
つんつんと天につつかへ風風揚げし友よ団地の屋上よ
風揚や廻る地球に浮き上りゆふぐれのさびしさに風つれかへる
風揚や大気圏内よく晴れて沖をゆく幼子たちの風高し